

5 . 築 200 年の古民家の研修宿泊施設としての活用支援

(千葉県大多喜町)

タイトル	築 200 年の古民家活用事業を全面的にサポート
銀行名	千葉銀行
取組みに至った経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一級建築士の A 氏は、夫婦で経営する建築設計事務所において古民家等を含む一般住宅の設計・監理業務を行ってきた。</li> <li>・ 千葉県夷隅郡大多喜町で古民家リフォームの設計に携わったことをきっかけに、デザインの力で古民家を再生させ、過疎化する町、農地・里山を再生したいとの考えに至り、平成 28 年 4 月に(株)人と古民家を設立。</li> <li>・ 千葉市内の居住者から、大多喜町で空き家になっている築 200 年の実家を購入して欲しいとの依頼が当社にあり、研修宿泊施設として活用することを計画。資金調達の全般について相談を受けた。</li> </ul>
具体的な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ハンズオン支援の実践                      当行の本部専担者が、事業計画の策定段階から当社に積極的に関与。観光担当は、地域経済活性化支援機構と同行し、国内での古民家再生事例を紹介。農業担当は、農地転用について助言を行うなど、事業の実現可能性を高めるための支援を実施した。</li> <li>・ 事業性評価融資の実行                      事業計画に基づき、柔軟な返済設計が可能な「地方創生融資制度」を提案。集客力が高まり、安定したキャッシュフローを計上できるまで、3年間の元金返済据置期間を設けるなど、当社の事業計画に合わせた返済計画を提案した。</li> <li>・ 補助金および助成金の申請をサポート                      古民家事業について、「農山漁村振興交付金」等の利用可能性を調査して回答（申請は見送り）。また公益財団法人ひまわりベンチャー育成基金が行う助成事業を紹介し、選考を経て2百万円の助成を受けることが出来た。</li> </ul>
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成 29 年 4 月末のオープン後間もなく、稼働率を安定させるため、クラウドファンディング等も活用して法個人の会員を募集している。</li> <li>・ 当施設および大多喜町の認知度向上が課題であり、自治体等と連携して、旅行会社等へのアプローチを開始。</li> <li>・ 平成 29 年 5 月 30 日に当行が開催する「古民家を活用した観光まちづくりシンポジウム」に、大多喜町および(株)人と古民家にも全面協力をいただいている。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div data-bbox="392 1563 839 1861" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="979 1563 1358 1861" data-label="Image"> </div> </div> <p style="text-align: center;">大多喜町の対象物件 <span style="margin-left: 200px;">5月30日開催のシンポジウムリーフレット</span></p>
関連公表資料等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「『ちばぎん地方創生融資制度』による融資取組みについて」(平成 28 年 12 月 7 日)  <a href="http://www.chibabank.co.jp/news/hojin/2016/1207_01/pdf/news20161207_01_001.pdf">http://www.chibabank.co.jp/news/hojin/2016/1207_01/pdf/news20161207_01_001.pdf</a></li> </ul>